

みやぎ街道交流会

NEWS

京野副会長 巻頭言

芭蕉、おくの細道、松島、瑞巖寺、頼賢...



二〇〇七年五月二日は何の日？
 松島で昨年発足した私たちのサークルにとって、この上もない意義深い日でした。そして翌日・三日「みやぎ街道交流会」の発起人が一泊二日の行程で松島湾内の寒風沢島で開かれました。

まず、七百年前の徳治二年（一三〇七）三月十五日（陰暦）は、陽暦で言うと今年の五月二日（満月）にあたりました。頼賢という松島の雄島の修行僧が、見仏上人を慕い、二十二年間、島を出ることなく八二才まで修行に努めたのです。この高徳を後世に伝えるため、二人の僧侶が鎌倉を往来し、建長寺十世「一山一寧」に碑文を依頼し

日本橋より百里 おくの細道松島海道

代表 京野 英一

ました。中国から帰化したこの高僧が朱筆を染めた日が三月十五日でした。こうして三十余人の修行僧によってその年に「頼賢の碑」は建立され、現在に至っています。

次に寒風沢島は明治以降、塩竈の行政区内となりましたが、領内の米・塩を江戸・大阪まで運ぶ仙台藩直轄の舟運基地として大いに賑いをみせました。周知の通り、この外にも松島湾に跨る塩松周辺地域は考古学上、石器時代から縄文・弥生の文化を、古代、中世、近世と現代においても連続した由緒ある日本固有の歴史的文化と自然景観を残しています。

ややもすると「街道」というイメージが損なわれた塩松地域は、古人が残した作品の尊さが失われつつあります。とりわけ宗久の著した『都のつと』の「御門六〇余国の中に塩がまという所に似たるなし」と芭蕉の最高傑作『おくの細道』の「松島は扶桑第一の好風にして」などは、門外漢の私にとりまして郷土の誇りであります。



この芭蕉が書名に選んだ宮城郡の古名勝（註）「奥の細道」は、現在最も多くの国々に翻訳された日本文学のひとつになりました。藩祖・政宗公が菩提寺に名づけた「瑞巖」とは「永遠の理想郷」という意味です。私たちは郷土のうるわしさがこれ以上壊されたいよう、後世に伝えて行かねばなりません。

お陰様で過日・六月三十日の「芭蕉の道を辿り、往時を偲ぶ集い」は、首都圏の参加も頂き、今年で六年目を迎えました。

今後も皆様と共に、日本を代表する文学の代表舞台としての「みやぎ街道」を発信して行きたいと思っております。

平成一九年八月一日 京野 英一

（註）宮城郡の古名勝「奥の細道」については、「仙台藩書」「おくの細道」の解説を参照しました。



ニュースで紹介したい催しや参加報告はこちら事務局までお寄せください！
みやぎ街道交流会事務局

連絡先

〒980-0801
 仙台市青葉区木町通 1-6-7
 グランビュー晩翠通 1F
 （株）Rプランニング内
 TEL: 022-263-2560 / FAX: 022-724-3578
 Mail to : r @r-planning.jp

みやぎ街道交流会 主催

第1回交流会議 in 栗原

開・催・決・定 !!

日程
 平成19年11月17日（土）から、
 平成19年11月18日（日）の2日間

場所
 栗原市役所金成庁舎・ほたるホールにて
 2日目は栗原市内でのフィールドワークです

詳細が決定次第、チラシ等での告知を予定しています。お楽しみに！

主な開催内容
 1日目...伊治城や岩麻呂にちなんだ基調講演や、栗原地方の奥州街道の紹介、地元の郷土料理や県内の地酒を振舞う街道談義 等
 2日目...栗原市内の旧奥州街道や街道周辺の地域資源をめぐる探訪会



（右写真）「H19.8.4 栗原市「旧奥州街道を歩いてみる会」写真レポート」より レポートの詳細は裏面「活動報告」をご覧ください

活動報告

ACTIVITY 07.06 - 07.08

今年は記録的な猛暑でしたが、暑さに負けず、東北各地では様々なイベントが開催されました。その様子を、参加レポートと写真でご紹介します。

第6回おくの細道松島海道の旅 ~ 芭蕉の道をたどり、往時をしのぶ集い~ 6月30日(土) / 宮城県多賀城市~松島市

今回で6回目を数える「おくの細道松島海道の旅」。55名が参加し、芭蕉というストーリーのもと、多賀城跡~塩竈~松島(雄島)を歩きました。散策後には観光遊覧船にて、観月会及び地酒付き夕食会もあり、ミニライブで盛り上がりました。それにしても、5月3日に引き続き、今回も松島の名月が観られなかったことが残念でした...両日とも、前日または翌日には素晴らしい月が見られたのに!

みやぎ街道交流会 山屋



「萱野峠・敷石惚れ掘れ探検隊」実験イベント

7月1日(日) / 山形県小国町

小雨の降るあいにくの天候でしたが、地元の方や子どもたち、仙台や横浜からの参加者も含む総勢約100名が参加し、地元のスタッフの方々のご指導のもと、敷石の掘り起こしに汗を流しました! 5班に分かれて、さっそく鍬やスコップで掘りおこし作業を開始。こんな敷石の中に本当に敷石があるのだろうかと思いましたが、まもなく立派な敷石が出現。最後の仕上げを終えると、見事な敷石の連なりが確認でき、往時の峠街道を偲ぶせる感動的な風景でした。

みやぎ街道交流会 高柳



栗原市「旧奥州街道を歩いてみる会」

8月4日(土)~8月5日(日) / 宮城県栗原市

栗原市の街道に興味のある市民の皆さんを始めとする総勢21名が参加し、栗原市内の旧奥州街道を探索しました。栗原市域には、歴史資源として奥州街道が相当区間残されており、特に有壁本陣や八重壁~力石、肘曲がり坂~大沢田は、東北地方でも一級品です。今回の「旧奥州街道を歩いてみる会」での成果を「みやぎ街道交流会第1回交流大会」に発展させ、栗原市民の方々はもちろんのこと、宮城県民に広く発信していきたいと感じました。

みやぎ街道交流会 山屋



みちのく歴史街道研究会友の会特別企画

『歴史の道と地名』講演会

7月22日(日) 13:30より
(道路資料館みちあむにて)

講師: 太宰 幸子 氏
宮城県地名研究会会長
東北アイヌ語地名研究会副代表
みやぎ街道交流会会員

現在、河北新報3/4「地名の泉」執筆中

「みちのく歴史街道研究会友の会」の会員をはじめ、約60名が聴講。従来の歴史街道研究のアプローチに太宰さんの地名研究という新たな視点が加わることで、さらに広がりや深みが増すことになると感じ、また、「みやぎ街道交流会」との交流から新たな連携が生まれる予感がありました。

みやぎ街道交流会 山屋



わらじで歩こう七ヶ宿

8月25日(土)~8月26日(日) / 宮城県七ヶ宿町

今年で22回目を数える「わらじで歩こう七ヶ宿」。前日から七ヶ宿入りしたみやぎ街道交流会メンバー6名は、旧羽州街道の散策、前夜祭「七ヶ宿花祭り」花火大会、そして本番「わらじで歩こう...」で、2日間七ヶ宿を満喫しました。旧羽州街道散策では、三宿地域連携協議会高橋さんの案内でダム堤体下までの遊歩道沿いに点在する旧街道や、夏でも寒いくらいの大きな風穴と氷室跡を見学。散策後は、日本でも数少ない「含芒硝泉」の湯沢温泉(やくせん旅館)の湯でさっぱり汗を流しました。その後は、前夜祭東北最大の「火祭り」・護摩の炎にすっかり魅せられ一同感動。それぞれ家族の思いを護摩木に託しました。おなじみ街道談義では、宿泊場所の公民館に場所移しミラーボール付カラオケ大会。梅津町長もイベント終了後の忙しい中かけつけてくださり、おおいに盛り上がりました。翌日26日も快晴。1名が加わり7名で「わらじ



で歩こう七ヶ宿」本番に挑みました。初参加のため慣れないわらじに途中で履き替える人も...堤防、そば畑、親子松や振り袖地蔵などの風景の中を歩き、茶屋では、地元の方による麦茶やキウリ漬け、くだものおもてなしに感激、それぞれのペースで歩いた11kmでした。みやぎ街道交流会 横山 / 河野(イラスト)

イベント告知

秋の行楽シーズン到来! 関連イベントも盛りだくさんです! 各イベントのお問い合わせはみやぎ街道交流会事務局まで。

山形県小国町

10月20日(土)
~21日(日)

萱野峠 敷石惚れ掘れ探検隊

歴史の重み・文化の深さをこの手で感じてみませんか?

【主催者】
十三峠活用連絡協議会設立準備会
(小国町教育委員会内・遠藤)
tel:0238-62-2141 / fax:0238-62-2143

福島県相馬市

10月27日(土)

第6回 ふくしまけん街道交流会 相馬中村藩領内交流会

「相馬中村藩領内街道」を歩き、「塩の道」と「職人の街」を探索してみませんか?

【主催者】
ふくしまけん街道交流会事務局
tel:024-582-2315 / fax:024-582-6443

岩手県盛岡市 他

11月 3日(土)
~4日(日)

とうほく街道会議

第3回交流会・岩手大会

昨年度の福島大会に引き続き、今年度は岩手県内盛岡市を中心に開催いたします。

【主催者】とうほく街道会議事務局(株)東北地域環境研究室内
tel 022-212-1105 / fax 022-212-1106

宮城県栗原市

11月17日(土)
~18日(日)

みやぎ街道交流会

第1回交流大会 in 栗原

みやぎ街道交流会主催の初の街道交流大会です。各方面より多数の方のご参加をお待ちしております!

【主催者】みやぎ街道交流会事務局
tel 022-263-2560 / fax 022-724-3578

編集後記

次号第5号は、11月頃の発行を予定しています。このニュースで紹介したい催しの告知や参加報告等がありましたら、ぜひ事務局までお知らせ下さい!

一雨ごとに秋の風が心地良く感じられる今日この頃、皆さまいかがお過ごしですか? 巻頭言の松島海道。松島は花火も素敵ですが、この秋は月見デートなんていうのも風流ですね。男性諸君、街道デートで女性のハートを掴んでみてはいかがでしょう? そして、みやぎ街道交流会主催の「第1回交流大会」が栗原市に動き出しましたね。事務局では、栗原の方々との打ち合わせを重ね、参加者のみなさんにより深く、濃く、みやぎの街道を味わっていただけよう、全力で企画検討中です! このニュースが発行される、九月二十四日にも栗原市にて、「第二回、旧奥州街道を歩いてみる会」も開催されます。もしかしてもう紅葉も見られるのでしょうか?

今後、東北各地で様々なイベントが予定されています。スポーツ・文化・食欲etc.: 皆さんの街道を通してたくさんのお話を聞かせてください!